

枚方市男女共同参画に関する 市民アンケート調査結果報告書

平成 27 (2015) 年 3 月

枚 方 市

目次

I	実査概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
	(1) 一般	1
	(2) 小学生～大学生	1
3	回収状況	2
4	報告書の見方	2
II	調査結果の概要	3
1	一般調査	3
	(1) 回答者属性	3
	(2) 男女の平等感と役割分担について	3
	(3) 生活の満足感について	4
	(4) 子どもの教育について	5
	(5) 高齢期の生活について	5
	(6) 職業生活について	6
	(7) 仕事と家庭などの関わりについて	7
	(8) DV（ドメスティック・バイオレンス）、セクシュアル・ハラスメントなどについて	7
2	小学生・中学生・高校生・大学生調査	10

Ⅲ 調査結果	17
1 一般	17
(1) 回答者属性	17
(2) 男女の平等感と役割分担について	20
(3) 生活の満足感について	41
(4) 子どもの教育について	47
(5) 高齢期の生活について	58
(6) 職業生活について	63
(7) 仕事と家庭などの関わりについて	78
(8) DV（ドメスティック・バイオレンス）、セクシュアル・ハラスメントなどについて	90
2 小学生・中学生・高校生・大学生	123
Ⅳ 自由意見	153
Ⅴ 調査票	163
1 一般	163
2 小学生	171
3 中学生	173
4 高校生	176
5 大学生	180

I 実査概要

I 実査概要

1 調査の目的

枚方市では、すべての市民が互いに人権を尊重し合い、責任を分かち合い、性別にかかわらず個性と能力を發揮することができる男女共同参画社会の実現を目指し、枚方市男女共同参画推進条例を平成 22（2010）年 4 月 1 日に施行しました。条例に基づく第 2 次枚方市男女共同参画計画（計画期間：平成 23（2011）年度～平成 27（2015）年度）を策定し、施策の推進に取り組んでいます。

本調査は、市民の男女共同参画に関する意識や現状を把握し、平成 28（2016）年度を始期とする第 3 次枚方市男女共同参画計画策定の基礎資料として今後の施策推進の参考とするために実施しました。

2 調査対象

（1）一般

- ア. 調査地域 枚方市全域
- イ. 調査対象 市内在住の満 20 歳以上の男女
- ウ. 標本数 2,000 人
- エ. 有効回収数 833 人（回収率 41.7%）
- オ. 抽出方法
住民基本台帳に基づき、対象者を 20 歳代、30 歳代、40 歳代、50 歳代、60～70 歳代の 5 区分に分け、それぞれ 400 人ずつとする。各区分ごとの、地域（市内を 10 地区に分類）・男女比による配分は人口比により按分し、無作為抽出する。
- カ. 調査方法 郵送法（調査票の送付と回収及び葉書による督促状 1 回の送付）
- キ. 調査期間 平成 26（2014）年 11 月 15 日から 11 月 30 日
- ク. 調査項目
①回答者属性 ②男女の平等感と役割分担について ③生活の満足感について
④子どもの教育について ⑤高齢期の生活について ⑥職業生活について
⑦仕事と家庭などの関わりについて ⑧DV（ドメスティック・バイオレンス）、セクシュアル・ハラスメントなどについて ※詳細はアンケート調査票参照（163 ページから）

（2）小学生～大学生

- ア. 調査地域 枚方市全域
- イ. 調査対象 市立小学校に通う小学 5 年生／市立中学校に通う中学 2 年生
市内の高校に通う学生／市内の大学に通う学生
- ウ. 標本数・有効回収数 小学生 492 人／中学生 415 人／高校生 604 人／大学生 220 人
- エ. 調査方法 学校を通じた調査票の配布・回収
小学校 6 校、中学校 2 校、高校 10 校、大学 5 校

I 実査概要

- オ. 調査期間 平成 26 (2014) 年 11 月 13 日から 12 月 11 日
カ. 調査項目 アンケート調査票参照 (171 ページから)

3 回収状況

(1) 一般

※記入不備等の無効票はありませんでした。

	全 体	女 性	男 性
標本数	2,000 人	1,016 人	984 人
有効回収数	833 人	473 人	355 人
有効回答率	41.7%	46.6%	36.0%

(2) 小学生

	全 体	女 子	男 子	無回答
標本数・有効回収数	492 人	223 人	264 人	5 人

(3) 中学生

	全 体	女 子	男 子	無回答
標本数・有効回収数	415 人	194 人	208 人	13 人

(4) 高校生

	全 体	女 子	男 子	無回答
標本数・有効回収数	604 人	337 人	266 人	1 人

(5) 大学生

	全 体	女 性	男 性	無回答
標本数・有効回収数	220 人	94 人	125 人	1 人

4 報告書の見方

- (1) 回答は各質問の回答者数 (N) を基数とした百分率 (%) で示してあります。また、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
- (2) 複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
- (3) クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計 (全体) の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- (4) 調査表内で経年比較をしている箇所は、本市が平成 22 (2010) 年と平成 24 (2012) 年に行った「枚方市男女共同参画にかかる市民アンケート調査」の結果と比較していますが、今回調査と抽出方法が異なるため、(過去調査の対象者区分：20 歳代、30 歳代、40 歳代、50 歳代、60 歳代、70 歳代の 6 区分) 参考値とします。

Ⅱ 調査結果の概要

Ⅱ 調査結果の概要

1 一般調査

(1) 回答者属性 (P17)

回答者の性別は、「女性」56.8%、「男性」42.6%となっています。回答者の年齢構成は全体で「20～29歳」12.1%、「30～39歳」16.9%、「40～49歳」18.6%、「50～59歳」22.4%、「60～69歳」15.0%、「70歳以上」14.4%となっています。配偶関係（事実婚含む）は、「結婚している」66.6%、「結婚していない」21.7%、「結婚したが、離婚または死別した」10.9%、就労形態は、自身は「正規雇用で働いている」33.3%、「非正規雇用で働いている（契約社員・派遣社員・パートタイマー・アルバイトなど）」21.6%、「家事専業」18.8%と続いています。子どもの有無（別居を含む）については、「いる」71.2%、家族構成は「親と子の二世帯世帯」52.1%が最も高くなっています。

(2) 男女の平等感と役割分担について

問1 あなたは、次の(1)～(8)の分野で、男女はどの程度平等になっていると思いますか。それぞれあてはまる番号に○をつけてください。(○は各項目に1つ) (P.20)

社会の様々な場面における男女平等の現状認識についてみると、全ての項目において、『男性優遇』（「男性が優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」の合計）が、『女性優遇』（「女性が優遇されている」と「どちらかといえば女性が優遇されている」の合計）より高くなっています。場面別に見ると、特に『男性優遇』の割合が高いのは、「社会通念・慣習・しきたりなどで」は女性80.6%、男性70.7%、「政治の場で」は女性79.7%、男性68.5%となっています。「社会全体として」は女性77.2%、男性63.6%が『男性優遇』と感じています。

問2 あなたは、「男は仕事、女は家庭」という男女の役割分担について、どのように思いますか。(○は1つ) (P.29)

「男は仕事、女は家庭」という考え方についてみると、『同感しない』（「同感しない」と「どちらかといえば同感しない」の合計）は、女性56.0%、男性45.6%となっています。一方、『同感する』（「同感する」と「どちらかといえば同感する」の合計）は、女性36.4%、男性49.6%となっています。

問3 あなたは、「子どもが小さいうちは、母親は仕事をしないで、子どもの世話をしたほうがよい」という考え方について、どのように思いますか。(○は1つ) (P.31)

「子どもが小さいうちは、母親は仕事をしないで、子どもの世話をしたほうがよい」という考え方についてみると、『同感する』（「同感する」と「どちらかといえば同感する」の合計）は、女性65.1%、男性72.6%となっています。一方、『同感しない』（「同感しない」と「どちらかといえば同感しない」の合計）は、女性23.9%、男性18.9%となっています。

問4 次の(1)～(11)の言葉について、それぞれあてはまる番号に○をつけてください。(○は各項目に1つ) (P.32)

男女共同参画にかかわる言葉で、見聞きしたものについては、「男女雇用機会均等法」が女性90.3%、男性92.1%と男女ともいちばん高く、次いで「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律(DV防止法)」女性87.7%、男性88.2%、「男女共同参画社会」女性54.3%、男性69.3%となっています。

問5 今後、社会のあらゆる分野で男女共同参画を推進するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも) (P.39)

「男女共同参画を推進するために、どのようなことが必要だと思うか」についてみると、女性では「育児や介護を支援する施設やサービスの充実を図る」59.6%がいちばん高く、男性では「男性が意識を改革する」53.0%がいちばん高くなっています。次いで女性では「男性が意識を改革する」55.8%、「職場において賃金や昇進などの格差をなくす」48.2%となっています。男性では、「育児や介護を支援する施設やサービスの充実を図る」44.2%、「社会通念・慣習・しきたりを改める」43.7%となっています。

(3) 生活の満足感について

問6 あなたは、現在の自分の生活に満足していますか。(○は1つ) (P.41)

現在の生活の満足感についてみると、男女ともに『満足している』(「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計)が『不満や心配が多い』(「不満や心配が多い」と「どちらかというとな不満や心配が多い」の合計)の割合より高くなっています。

問6-1 不満や心配があるのは、どのようなことですか。(○はいくつでも) (P.43)

不満や心配の分野についてみると、女性では「健康・病気・障害・介護など」69.2%がいちばん高く、男性では「仕事・雇用・転職・再就職・起業など」59.4%がいちばん高くなっています。次に、女性では「家計・収入・借金・相続など」68.1%、男性では、「健康・病気・障害・介護など」55.8%となっています。

問7 あなたは、不満や心配について、どこ(だれ)かに相談したいと思ったことがありますか。(○は1つ) (P.45)

不満や心配について、どこ(だれ)かに相談したいと思ったことがあるかについてみると、「あった」が女性72.5%、男性51.4%となっています。

**問 8 あなたは、この1年間に、不満や心配について、どこ（だれ）かに相談しましたか。
（○は1つ）（P. 46）**

この1年間に、不満や心配について、どこ（だれ）かに相談したかについてみると「相談した」が女性 52.2%、男性 31.9%となっています。

（4）子どもの教育について

**問 9 あなたは自分の子どもを、「男の子は男らしく」、「女の子は女らしく」育てていますか（育てましたか）。お子さんがおられない方は、もし、子どもがいるとしたら、「男の子は男らしく」、「女の子は女らしく」育てたいと思いますか。（○は1つ）
（P. 47）**

あなたは自分の子どもを、「男の子は男らしく」、「女の子は女らしく」育てていますか（育てましたか）、育てたいと思いますかについてみると、『そう思う』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）が女性では 59.4%、男性では 75.2%となっています。

**問 10 あなたに 15 歳の子どもがいるとしたら、将来どのような生き方をしてほしいと思いますか。女の子、男の子のいずれについてもお答えください。（○はいくつでも）
（P. 48）**

15 歳の子どもがいるとしたら将来してほしい生き方については、「女の子」の場合、女性は「人間性豊かな生活をする」81.8%がいちばん高く、男性は「家族や周りの人たちと円満に暮らす」71.8%がいちばん高くなっています。「男の子」の場合、男女とも「経済的に自立した生活をする」が女性 84.8%、男性 78.0%がいちばん高くなっています。

**問 11 男女共同参画を推進していくために、学校で行うとよいと思うものはどれですか。
（○はいくつでも）（P. 54）**

男女共同参画を推進していくために、学校で行うとよいと思うものについては、男女とも「進路指導や職業観の育成について、男女の区別なく能力を生かせるよう配慮する」、「学校生活の中で、性別による固定的な役割分担を行わない」が高い割合となっています。

（5）高齢期の生活について

問 12 あなたは、自分の親が介護を必要とする状態になった場合、主にだれが介護をすることになると思いますか。その状態にある（あった）方は、主にだれが介護をしている（していた）かお答えください。（○は1つ）（P. 58）

自分の親の介護についてみると、「自分」が女性 53.9%、男性 27.6%と男女ともいちばん高くなっています。「自分の配偶者」は男性 20.8%、女性 2.1%となっています。

問 13 あなたは、配偶者の親が介護を必要とする状態になった場合、主にだれが介護をすることになるとお考えですか。その状態にある（あった）方は、主にだれが介護をしている（していた）かお答えください。（○は1つ）（P. 60）

配偶者の親の介護についてみると、女性は「自分」29.6%がいちばん高く、男性は「自分の配偶者」42.0%がいちばん高くなっています。

問 14 もしも、あなた自身が介護を必要とする状態になった場合、主にだれに世話をしてもらいたいとお考えですか。（○は1つ）（P. 61）

介護してもらいたい相手についてみると、女性は「配偶者」23.9%、「家族以外の人」23.5%、男性は「配偶者」49.0%、「わからない」16.6%という順になっています。

（6）職業生活について

問 15 育児休業の取得について、お聞かせください。（○は1つ）（P. 63）

育児休業についてみると、女性は「取得せずに退職する（した）」33.6%がいちばん高く、男性は「取得するつもりはない（なかった）」41.6%がいちばん高くなっています。「取得したことがある」のは、女性8.1%、男性0.9%となっています。

問 15-1 それはなぜですか。（○は1つ）（P. 65）

育児休業の取得状況の理由についてみると、女性は「勤務先に育児休業制度がない（なかった）」31.4%がいちばん高く、男性は「自分が取得しなくてもよい（よかった）」43.2%がいちばん高くなっています。

問 16 あなたの今の職場、あるいは、元職場では、次の（1）～（9）について、性別によって差がある（あった）とお考えですか。（○は各項目に1つ）（P. 66）

現在あるいは元の職場における性別による差についてみると、男女とも、男性が優遇されていると思う割合が高い項目は「管理職への登用」「昇進・昇格」、女性が優遇されていると思う割合が高い項目は「休暇の取得しやすさ（育児・介護休暇など）」となっています。

問 17 男女がともに働きやすい社会の環境をつくるためには、どのようなことが必要だと思いますか。（○はいくつでも）（P. 76）

男女がともに働きやすい社会の環境づくりには、「育児休業や介護休業をだれもが利用しやすくする」が女性79.1%、男性62.3%と男女ともいちばん高く、次いで「保育所や留守家庭児童会室などの育児環境を充実し、だれもが利用できるようにする」が女性71.2%、男性59.2%となっています。

(7) 仕事と家庭などの関わりについて

問 18 あなたは、生活の中で「仕事」、「家庭や地域活動」、「個人の生活」のうち何を優先しますか。あなたの希望と現状に近いものをそれぞれについてお答えください。
(○は1つずつ) (P. 78)

生活の中で優先を希望することについては、男女ともに『仕事』と『家庭や地域活動』と『個人の生活』をすべて大切にしたい」がいちばん高く、女性 28.8%、男性 28.7%となっています。次いで女性は『家庭や地域活動』と『個人の生活』を優先したい」18.2%、男性は『個人の生活』を優先したい」16.6%となっています。

現状については、「『仕事』が中心になっている」が女性 18.2%、男性 48.5%と男女ともいちばん高くなっています。男女の差が大きいものについては、「『家庭や地域活動』と『個人の生活』を主に行っている」が女性 11.8%、男性 2.5%となっています。

問 19 今後、男女で家事（料理・洗濯・掃除・育児・介護など）や地域活動などを分担するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも) (P. 82)

男女で家事や地域活動などを分担するために必要なことについてみると、「夫婦の間で家事などの分担をするように十分話し合う」が女性 56.7%、男性 49.9%と男女ともいちばん高くなっています。次いで「男女の固定的な役割分担についての社会通念・慣習・しきたりを改める」が女性 47.8%、男性 42.5%となっています。

問 20 あなたが1日のうちで仕事と家事に費やす平均時間はどの程度ですか。
(○は1つずつ) (P. 86)

1日のうちで仕事に費やす平均時間についてみると、平日では、女性は「4時間未満」が23.7%といちばん高く、男性は「8時間以上10時間未満」が28.7%といちばん高くなっています。休日では、男女とも「4時間未満」がいちばん高く、女性 54.1%、男性 65.4%となっています。

1日のうちで家事に費やす平均時間についてみると、平日では女性は「5時間以上」が20.9%といちばん高く、男性は「ほとんどない」が33.5%といちばん高くなっています。休日では女性は「5時間以上」が23.5%といちばん高く、男性は「30分以上1時間未満」が21.7%といちばん高くなっています。

(8) DV（ドメスティック・バイオレンス）、セクシュアル・ハラスメントなどについて

問 21 あなたは、恋人同士の間で次の(1)～(6)のようなことが行われた場合、暴力にあたると思いますか。(○は各項目に1つ) (P. 90)

「暴力にあたるとは思わない」では、「相手が自分の言うとおりにしなければ、不機嫌になる」が女性 38.7%、男性 48.2%といちばん高くなっています。「暴力にあたる場合もそうでない場合もあると思う」では、「相手が自分の言うとおりにしなければ、不機嫌になる」が女性 46.1%、男性 40.6%といちばん高く、次いで「頻繁に携帯で電話をかけてきて、居場所や会っている人のことを尋ねる」が女性 40.0%、男性 44.8%、「許可なく、携帯の送受信の履歴をチェックしたり、アドレスを消したりする」が女性 35.1%、男性 35.8%となっています。

問 22 あなたは、交際相手から、次の（１）～（３）のようなことをされたことがありますか。（○は各項目に１つ）（P. 94）

交際相手からの暴力を経験したことが『あった』（「何度も合った」と「１～２度あった」の合計）についてみると、「人格を否定するような暴言、交友関係を細かく監視する、なぐるふりをして脅すなどの精神的な嫌がらせを受けた」は女性 25.0%、男性 13.3%、「なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた」は女性 19.1%、男性 9.0%、「あなたがいやがっているのに性的な行為を強要された」は女性 17.3%、男性 4.0%となっています。

問 23 あなたは、配偶者間で次の（１）～（１０）のようなことが行われた場合、暴力にあたると思いますか。（○は各項目に１つ）（P. 98）

「暴力にあたるとは思わない」では、男女とも「何を言っても無視する」が女性 15.9%、男性 22.3%といちばん高くなっています。「暴力にあたる場合もそうでない場合もあると思う」では、「何を言っても無視する」が女性 51.6%、男性 53.0%といちばん高く、次いで「実家の親、兄弟・姉妹、友人との付き合いをいやがったり監視したり、外出を制限したりする」が女性 27.3%、男性 38.9%、「大声でどなったり、なぐるふりをして相手を脅したりする」が女性 23.9%、男性 36.6%となっています。

問 24 あなたは、過去１年間に配偶者（別居中を含む）から、次の（１）～（３）のようなことをされたことがありますか。ここでの「配偶者」には、元配偶者（離別・死別した相手）も含まれます。（○は各項目に１つ）（P. 109）

配偶者からの暴力を経験した人の割合（「何度もあった」と「１～２度あった」の合計）についてみると、「人格を否定するような暴言、交友関係を細かく監視する、なぐるふりをして脅すなどの精神的な嫌がらせを受けた」は女性 17.1%、男性 12.7%、「なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた」は女性 12.0%、男性 9.0%、「あなたがいやがっているのに性的な行為を強要された」は女性 9.7%、男性で 3.9%となっています。

問 25 あなたはそのことをどこ（だれ）かに相談しましたか。（○は１つ）（P. 113）

相談の有無についてみると、「相談した」は女性 25.7%、男性 7.9%となっています。

問 25-1 あなたはそのことをどこ（だれ）に相談しましたか。（○はいくつでも）（P. 114）

P. 114 参照。本データについては、サンプル数が少ないため参考値とします。

問 26 もしも、あなたの友人や知人が、配偶者あるいは恋人から暴力を受けているとしたら、あなたはどの窓口で相談することをすすめますか。(○はいくつでも) (P. 115)

友人や知人にすすめる相談先についてみると、女性では「枚方市配偶者暴力相談支援センター『ひらかたDV相談室』」が64.7%といちばん高く、男性では「警察」が66.2%といちばん高くなっています。窓口を「1つも知らない」は女性5.7%、男性5.4%となっています。

問 27 配偶者や恋人からの暴力(DV)に関して、次のような意見があります。あなたの考えに近いものを選んでください。(○はいくつでも) (P. 117)

配偶者や恋人からの暴力に関する考えについてみると、「暴力を受けている人は逃げようと思えば、いつでも逃げ出せるはず」は、女性16.1%、男性22.3%、「暴力をふるわれた人にも、何らかの原因があるので、暴力をふるう人を一方的には責められない」は、女性10.8%、男性19.2%となっています。「どんな理由があろうと暴力をふるう人が悪い」は女性76.3%、男性67.9%となっています。

問 28 あなたは、最近3年の間に、職場や学校、地域などにおいて、次のようなことをされた、もしくは見聞きしたことがありますか。(○はいくつでも) (P. 121)

セクシュアル・ハラスメントを受けたことがある、見聞きしたことがある中では、「性的な冗談や質問、卑わいな言葉をかける」が女性8.2%、男性9.0%と男女ともにいちばんが高くなっています。セクシュアル・ハラスメントを「されたこと、見聞きしたことはない」は女性63.0%、男性60.8%となっています。

2 小学生・中学生・高校生・大学生調査

※ 学校間で重複する設問については結果をまとめて掲載しています。学校ごとの設問番号は設問のあとに掲示しています。

1. あなたの性別は。

＜小学校（以下「小」）・中学校（以下「中」）・高校（以下「高」）・大学（以下「大」）すべて問1＞（P. 123）

小学5年生は「女子」45.3%、「男子」53.7%、中学2年生は「女子」46.7%、「男子」50.1%、高校生は「女子」55.8%、「男子」44.0%、大学生は「女性」42.7%、「男性」が56.8%となっています。

2. あなたは、何年生（何回生）ですか。＜高問2・大問2＞（P. 123）

高校生は「1年生」13.7%、「2年生」19.7%、「3年生」66.6%、大学生は「1回生」10.9%、「2回生」16.8%、「3回生」53.6%、「4回生」10.0%、「5回生」2.3%、「6回生以上」6.4%となっています。

3. あなたは、家でどのようなことをしていますか。（○はいくつでも）

＜小問2・中間2・高問3＞（P. 124）

「している」割合が高いものは、小学生では女子は「自分の部屋のそうじ」53.4%、男子は「ふろそうじ」42.0%となっています。中学生と高校生は男女とも「自分の部屋の掃除」が高く、中学女子62.9%、中学男子46.2%、高校女子52.8%、高校男子54.1%となっています。

4. 家で、おもに家事（料理・掃除・洗濯・子育てなど）をしているのはだれですか。

（○はいくつでも）＜小問3・中間3・高問4＞（P. 125）

「おもに家事（料理・掃除・洗濯・子育て）をしている」のは、いずれの年代でも男女ともに「母」の割合が高く（小学女子95.5%、小学男子93.9%、中学女子91.8%、中学男子96.2%、高校女子95.0%、高校男子95.1%）、次いで「父」（小学女子32.7%、小学男子32.2%、中学女子18.6%、中学男子21.6%、高校女子12.8%、高校男子14.3%）となっています。

5. あなたは、料理・掃除・洗濯などの家事は、だれがするのが一番よいと思いますか。

（○は1つ）＜小問4・中間4・高問5・大問3＞（P. 126）

「女の人が主にするのがよい」は、小学生は女子22.9%、男子23.9%、中学生は女子14.4%、男子22.1%、高校生は女子6.8%、男子18.8%、大学生は女性9.6%、男性18.4%となっています。

「男の人と女の人が協力してするのがよい」は、小学生は女子59.6%、男子50.8%、中学生は女子63.9%、男子54.3%、高校生は女子78.9%、男子57.5%、大学生は女性86.2%、男性64.8%となっています。

6. あなたは、子どもが小さいときの子育ては、だれがするのが一番よいと思いますか。
(○は1つ) <小問5・中問5・高問6・大問4> (P. 127)

「女の人が主にするのがよい」は、小学生は女子 25.1%、男子 26.1%、中学生女子で 17.0%、男子 22.1%、高校生は女子 10.4%、男子 19.9%、大学生は女性 8.5%、男性 20.0%となっています。

「男の人と女の人が協力してするのがよい」は、小学生は女子 63.2%、男子 56.1%、中学生は女子 72.2%、男子 61.5%、高校生は女子 83.1%、男子 66.5%、大学生は女性 87.2%、男性 73.6%となっています。

7. あなたは、お金を稼ぐ仕事を、だれがするのが一番よいと思いますか。(○は1つ)
<小問6・中問6・高問7・大問5> (P. 128)

「男の人が主にするのがよい」は、小学生は女子 38.6%、男子 53.0%、中学生は女子 31.4%、男子 51.0%、高校生は女子 22.6%、男子 41.4%、大学生は女性 16.0%、男性 45.6%となっています。

「男の人と女の人が協力してするのがよい」は、小学生は女子 47.1%、男子 35.2%、中学生は女子 54.6%、男子 32.7%、高校生は女子 66.5%、男子 37.2%、大学生は女性 73.4%、男性 40.8%となっています。

8. 次の(1)～(4)について、あなたは家の人(保護者)からどのように育てられてきたと思いますか。(○はそれぞれ1つ) <小問7・中問7・高問9・大問6> (P. 129)

(1) 一生懸命に勉強するようと言われてきた (小・中・高・大すべて(1))

『そう思う』(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)は、小学生は女子 81.2%、男子 84.5%、中学生は女子 68.0%、男子 75.0%、高校生は女子 59.1%、男子 64.3%、大学生は女性 73.4%、男性 61.6%となっています。

(2) 料理・掃除・洗濯などの家事ができるように教えられてきた (小(2)・中(3)・高(3)・大(3))

『そう思う』は、小学生は女子 83.8%、男子 68.6%、中学生は女子 75.3%、男子 60.1%、高校生は女子 69.1%、男子 57.1%、大学生は女性 69.1%、男性 60.0%となっています。

(3) どんなときでも暴力をふるうことはいけないと教えられてきた (小(3)・中(4)・高(4)・大(4))

『そう思う』は、小学生は女子 87.0%、男子 84.9%、中学生は女子 78.9%、男子 68.8%、高校生は女子 75.7%、男子 71.4%、大学生は女性 79.8%、男性 77.6%となっています。

(4) 自分の進路を自分で決めるようと言われてきた (決めさせてくれた)

『そう思う』は、中学生は女子 78.3%、男子 79.8%、高校生は女子 93.2%、男子 90.6%、大学生は女性 76.6%、男性 81.6%となっています。

9. あなたは、たとえば「男の子は強く」や「女の子は優しく」など、「男は〇〇」、「女は〇〇」のように言われたことがありますか。(〇は1つ)

<小問8・中問8・高問8・大問7> (P. 131)

『言われる(言われた)』『よく言われる(言われた)』と「ときどき言われる(言われた)」の合計は、小学生は女子51.5%、男子44.7%、中学生は女子56.2%、男子44.7%、高校生は女子66.5%、男子57.6%、大学生は女性66.0%、男性53.6%となっています。

10. どんなことについて言われたことがありますか。(〇はいくつでも)

<小問8-1・中問8-1・高問8-1・大問7-1> (P. 132)

『言われる(言われた)』割合が高い順に、小学生では、女子は「言葉づかい」70.4%、「整理整頓」40.9%、男子は「言葉づかい」46.6%、「勉強」41.5%となっています。中学生では、女子は「言葉づかい」72.5%、「服装・身だしなみ」54.1%、男子は「言葉づかい」52.7%、「勉強」44.1%となっています。高校生では、女子は「言葉づかい」69.6%、「座り方」51.8%、男子は「性格」51.6%、「言葉づかい」と「泣いたとき」がともに26.8%となっています。大学生では、女性は「言葉づかい」83.9%、「服装・身だしなみ」61.3%、男性は「服装・身だしなみ」43.3%、「性格」38.8%となっています。

11. それはだれに言われましたか。(〇はいくつでも)

<小問8-2・中問8-2・高問8-2・大問7-2> (P. 133)

割合が高い順に、小学生では、女子は「母」87.0%、「父」47.8%、「おばあさん」20.0%、男子は「母」77.1%、「父」59.3%、「おばあさん」17.8%。中学生では、女子は「母」87.2%、「父」40.4%、「祖母」26.6%、男子は「母」78.5%、「父」66.7%、「祖父」16.1%。高校生では、女子は「母」78.1%、「父」42.0%、「祖母」22.8%、男子は「母」56.2%、「父」45.1%、「友人」17.0%。大学生では、女性は「母」72.6%、「祖母」38.7%、「父」35.5%、男性は「母」65.7%、「父」47.8%、「祖父」19.4%となっています。

12. あなたは言われたとき、どのような気持ちになりましたか。(〇は1つ)

<小問8-3・中問8-3・高問8-3・大問7-3> (P. 134)

「いやな気持ちでした」は、小学生は女子9.6%、男子12.7%、中学生は女子21.1%、男子11.8%、高校生は女子29.0%、男子17.6%、大学生は女性25.8%、男性13.4%となっています。「そのとおりだと思った」は、小学生は女子55.7%、男子60.2%、中学生は女子36.7%、男子47.3%、高校生は女子21.4%、男子22.2%、大学生は女性30.6%、男性40.3%となっています。

13. あなたは、自分が男子または女子に生まれたことをどう思いますか。(○は1つ)

<小問10・中問12・高問17・大問19> (P.135)

「よかったと思っている」は、小学生は女子70.0%、男子78.4%、中学生は女子47.4%、男子70.7%、高校生は女子53.7%、男子61.7%、大学生は女性53.2%、男性53.6%となっています。「ちがうほうがよかったと思っている」は、小学生は女子5.4%、男子3.0%、中学生は女子11.9%、男子1.4%、高校生は女子8.0%、男子2.6%、大学生は女性6.4%、男性1.6%となっています。

14. あなたは、男女交際について次の(1)～(7)のような関係をどのように思いますか。(○はそれぞれ1つ) <中問9・高10> (P.136)

(1) メールの返信が遅いといつも怒る

「別にへんだと思わない」は、中学生は女子14.9%、男子25.5%、高校生は女子12.5%、男子18.8%となっています。

(2) メールを勝手に見たり、メールアドレスを勝手に消したりする

「別にへんだと思わない」は、中学生は女子5.7%、男子9.1%、高校生は女子3.3%、男子7.1%となっています。

(3) だれとどこにいたのか、しつこく聞く

「別にへんだと思わない」は、中学生は女子14.4%、男子21.2%、高校生は女子12.5%、男子17.7%となっています。

(4) 友人とのつきあいをいやがったり、禁止したりする

「別にへんだと思わない」は、中学生は女子7.7%、男子14.4%、高校生は女子6.5%、男子11.3%となっています。

(5) 言うことを聞かないと不機嫌になる

「別にへんだと思わない」は、中学生は女子11.9%、男子21.6%、高校生は女子7.1%、男子18.4%となっています。

(6) 相手がいやがっているのに無理やりキスしたり、体をさわったりする

「別にへんだと思わない」は、中学生は女子2.1%、男子3.4%、高校生は女子2.7%、男子7.1%となっています。

(7) 別れ話をしてもしつこくつきまとったり、いやな内容のメールを送ったりする

「別にへんだと思わない」は、中学生は女子2.6%、男子4.8%、高校生は女子3.0%、男子7.1%となっています。

15. 男女交際の中で起きる暴力のことを「デートDV」といいます。なぐる、けるという体への暴力だけではなく、言葉や態度で怖がらせたり、行動を制限したりすることもデートDVです。あなたは、「デートDV」という言葉を知っていますか。(○は1つ)
<中間10・高問11・大問8> (P.138)

「知らない」は、中学生は女子65.5%、男子78.4%、高校生は女子10.7%、男子21.4%、大学生は女性で24.5%、男性32.8%となっています。

16. あなたは、将来どのような仕事につきたいと思いますか。(○は3つまで)
<中間11・高問16・大問15> (P.139)

P.139 参照。

17. あなたは、交際相手から次の(1)～(3)のようなことをされたことがありますか。(○は各項目に1つ) <高問12・大問10> (P.140)

(1) なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた

『あった』(「何度もあった」と「1～2度あった」の合計)は、高校生は女子3.3%、男子7.6%、大学生は女性15.4%、男性13.4%となっています。

(2) 人格を否定するような暴言、交友関係を細かく監視する、なぐるふりをして脅すなどの精神的な嫌がらせを受けた

『あった』は、高校生は女子8.2%、男子8.2%、大学生は女性23.1%、男性16.5%となっています。

(3) あなたがいやがっているのに性的な行為を強要された

『あった』は、高校生は女子で7.5%、男子で3.0%、大学生は女性で12.8%、男性で13.4%となっています。

18. あなたはそのことをどこ(だれ)かに相談しましたか。(○は1つ) <高問13・大問11> (P.141)

「相談しなかった」は、高校生は女子64.3%、男子81.0%、大学生は女性40.9%、男性50.0%となっています。

19. あなたはそのことをどこ(だれ)に相談しましたか。(○はいくつでも)
<高問13-1・大問11-1> (P.142)

P.142 参照。本データについては、サンプル数が少ないため参考値とします。

20. 夫または妻、あるいは恋人からの暴力（DV）に関して、次のような意見があります。
あなたの考えに近いものを選んでください。（○はいくつでも） <高問14・大問13>（P. 143）

「暴力を受けている人は逃げようと思えば、いつでも逃げ出せるはず」は、高校生は女子13.1%、男子17.3%、大学生は女性9.6%、男性15.2%、「暴力をふるわれた人にも、何らかの原因があるので、暴力をふるう人を一方的には責められない」は、高校生は女子13.1%、男子15.4%、大学生は女性14.9%、男性19.2%となっています。「どんな理由があろうと暴力をふるう人が悪い」は、高校生は女子61.1%、男子43.2%、大学生は女性59.6%、男性40.8%となっています。

21. もしも、あなたの友人や知人が、夫または妻、あるいは恋人から暴力を受けているとしたら、あなたはどの窓口にご相談することをすすめますか。（○はいくつでも）
<高問15・大問12>（P. 146）

P. 146 参照。

22. あなたは、恋人同士の間で次の（1）～（6）のようなことが行われた場合、暴力にあたると思いますか。（○は各項目に1つ） <大問9>（P. 147）

（1）相手が自分の言うとおりにしなければ、不機嫌になる

大学生で、「暴力にあたると思わない」は、女性42.6%、男性42.4%、「暴力にあたる場合もそうでない場合もあると思う」は、女性50.0%、男性46.4%となっています。

（2）許可なく、携帯の送受信の履歴をチェックしたり、アドレスを消したりする

大学生で、「暴力にあたると思わない」は、女性21.3%、男性24.0%、「暴力にあたる場合もそうでない場合もあると思う」は、女性53.2%、男性36.8%となっています。

（3）頻繁に携帯で電話をかけて、居場所や会っている人のことを尋ねる

大学生で、「暴力にあたると思わない」は、女性25.5%、男子29.6%、「暴力にあたる場合もそうでない場合もあると思う」は、女性43.6%、男性33.6%となっています。

（4）「別れるなら自殺する」とメールを送る

大学生で、「暴力にあたると思わない」は、女性19.1%、男子15.2%、「暴力にあたる場合もそうでない場合もあると思う」は、女性21.3%、男性23.2%となっています。

（5）避妊に協力しない

大学生で、「暴力にあたると思わない」は、女性9.6%、男子10.4%、「暴力にあたる場合もそうでない場合もあると思う」は、女性22.3%、男性29.6%となっています。

（6）相手の合意を得ないで、一方的に性行為を行う

大学生で、「暴力にあたると思わない」は、女性9.6%、男子8.8%、「暴力にあたる場合もそうでない場合もあると思う」は、女性12.8%、男性16.0%となっています。

**23. あなたは、夫婦の役割分担としてどのようなあり方が望ましいと考えますか。
(○は1つ) <大問 14> (P. 148)**

大学生で、「結婚後、子どもが生まれても妻は仕事をやめないで、仕事と家事と子育てを夫婦で協力して行う」は、女性 51.1%、男性 40.0%、「結婚後、子どもが生まれたら妻は仕事を一旦やめて、子どもが大きくなったら再就職する」は女性 30.9%、男性 20.8%、「結婚したら、妻は仕事をやめて、夫は仕事、妻は家事・育児というように分担する」は、女性 5.3%、男性 13.6%となっています。

**24. 男女共同参画を推進していくために、学校で行うとよいと思うものはどれですか。
(○はいくつでも) <大問 16> (P. 149)**

大学生で割合の高いものは、「学校生活の中で、性別による固定的な役割分担を行わない」(女性 50.0%、男性 36.0%)、「進路指導や職業観の育成について、男女の区別なく能力を生かせるよう配慮する」(女性 37.2%、男性 36.0%)、「男女平等の意識を育てる授業をする」(女性 34.0%、男性 29.6%)となっています。

25. 男女がともに働きやすい社会の環境をつくるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも) <大問 17> (P. 151)

大学生で割合の高いものは、女性では「育児休業や介護休業をだれもが利用しやすくする」60.6%、「男女で家事労働(育児・介護含む)を平等に分担する」48.9%、「職場での男女の昇進や賃金等の格差をなくす」47.9%、男性では「育児休業や介護休業をだれもが利用しやすくする」38.4%、「男女で家事労働(育児・介護含む)を平等に分担する」32.8%、「男女の雇用機会を均等にする」29.6%となっています。

26. 今後、社会のあらゆる分野で男女共同参画を推進するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも) <大問 18> (P. 152)

大学生で割合の高いものは、女性では「育児や介護を支援する施設やサービスの充実を図る」42.6%、「子どものころから家庭で男女平等の意識を身につけさせる」40.4%、「男性が意識を改革する」「職場において賃金や昇進などの格差をなくす」37.2%、男性では「男性が意識を改革する」32.8%、「社会通念・慣習・しきたりを改める」32.0%、「学校で男女平等教育を行う」24.0%となっています。